

横浜市は、今年度末までに山下 ふ頭再開発の事業計画案を策定 しようと、「『答申』を踏まえ た基本的な方向性」を公表、

「市民意見募集」に続いて、

「市民検討会」を開いています。しかも、それらのまとめが公表されないまま、事業者のサウンディング調査を開始しました。なぜ、そんなに急ぐのでしょうか?



横浜のまちづくりにかかわる大事業は市民の意見にしっかりと耳を傾けなければならない、これはカジノ誘致撤回の市の最大の教訓でした。

市が進めている「市民検討会」は、「無作為抽出」で選出された36人の市民しか議論できず、市民のための山下ふ頭を求めてきた市民は排除されています。たとえば「山下ふ頭に〇〇があったらイイナ」プロジェクトの提言書は発表されているのに無視されているなど、このままでは市民意見が事業計画案に反映される保証はありません。

そこで私たちは、市とは別の、市民による検討会を企画しました。市民に公平で、オープンな、市民による山下ふ頭の未来を検討する会を開催し、市民が提案を発表し合い、専門家の知見を得ながら、議論する場を設けます。議論を重ね、練り上げたものを市に報告し、事業計画案に反映するよう求めます。

## 【開催日時】

2025年12月6日(土)午後2時~5時

【資料代】1,000円 ※学生無料

【事前申し込み・お問い合わせ先】

- shiminniyoru.shiminnotameno@gmail.com
- 🔇 090-8647-4942(担当:中村)

【主 催】「市民がつくる山下ふ頭の未来検討会」実行委員会

#### 【会場】

# 横浜情報文化センター 6Fホール

横浜市中区日本大通り11 みなとみらい線日本大通り駅下車2分



第 ■ 12月6日(土)未来検討会参加申込フォーム←←←

# △あなたの声で、山下ふ頭の未来をつくろう!

山下ふ頭は、47へクタール・横浜スタジアム13個分の広さのある、「市有地」=「市民の共有財産」。カジノを止めた横浜市民には、どんな山下ふ頭にするか、提案し、議論して決める権利と責任があります。

これまで4年間、市民は横浜市に さまざまな意見と提案をしてきま したが、今回、市民自らが企画、 運営する検討会を企画しました。



### ♪ どんな会なの?

- ・山下ふ頭に関心のある方なら市内外問わず、どなたでも参加できます。
- あなたが考えた「山下ふ頭の活用案」を発表できます。
- 専門家のアドバイスも受けながら、意見を交わし、いくつかの案にまとめていきます。
- 市に市民の提案として届けます。

## ₹ 提案を発表してみませんか?

第一次募集期間:10月23日(木)~11月14日(金)

応募フォーム:

https://shiminnotameno-yamashitafuto.studio.site/news/event-20251206



### ●この4年間、市民は発言、提案し続けてきましたが、反映されたの?!

- 2021.12~22.6 第1回市民意見募集に3,721件(うち自由意見1,942件)の意見
- 2022.5~6 第1回市民意見交換会に総数221人が参加、3,120件の意見
- 2022.11~23.2 第2回市民意見募集に1,284件の自由意見
- 2022.12~23.2 第2回市民意見交換会に総数172人が参加、2,555件の意見
- 2023.8 対談「みなとから考える横浜のまちづくり」(中村桂子生命誌研究、吉見俊哉國學院大教授)
- 2023.8~24.12 山下ふ頭再開発検討委員会計6回 傍聴&255人が443件の意見
- 2024.2 「みんなの山下ふ頭に○○があったらイイナ」プロジェクトが提言書(市民共創エリア創設)
- 2024.11 シンポ「カジノは止まったけれど~市民不在の大型開発でいいの?」(大方東大元教授が「金儲けのテーマパークではなく、市民による市民のための市民の集うパブリックスペースを」進言、坪郷早大元教授が「市民主体の事業案検討委員会」を提案、参加者の合意を検討委員会委員長に届ける)
- 2024.12 山下ふ頭再開発検討委員会の「答申」直後に、市民有志が市民意見の反映なしと記者会見
- 2025.3 「共に求めよう 市民による市民のための山下ふ頭を」集い。8市民団体が市への要求発言
- 2025.3~現在 「市民代表が入る事業計画検討委員会の設置を求める」署名活動。12,000筆超
- 2025.5 神奈川大法学研究所主催の「山下ふ頭の未来シンポジウム」で市民運動の報告
- 2025.7~9 「基本的な方向性」に対する「市民意見募集」に積極的な応募運動をよびかける